

開催報告

[Peace Now! Hiroshima 2020]

概要

日程：2020年11月28(土)～29日(日)

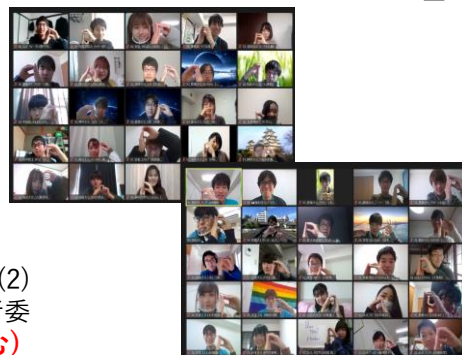
場所：広島市内会議室を拠点にオンライン開催

(セミナーの一部分を全国学生委員会のYouTubeでもライブ配信。その後も閲覧できます。)

参加者

弘前(2)、岩手(1)、東北学院(1)、愛知(2)、静岡(2)、静文(2)、滋県大(2)
神外大(2)、福市(2)、島根(8)、梅光(3)、四学(2)、愛媛(3)、現地実行委員(7)、連合会・ブロック(12)

計13会員51名(運営含む)



獲得目標

- I. ヒロシマの過去を知り、先人の想いを受け継ぐ。
- II. 仲間がいることを知り、これから平和に関する行動を起こすきっかけをつくる。
- III. 過去と現在を踏まえて、社会の一員として考える。

「未来へのバトン」をつなぐために、
ここを目指して学んでいきます。

被爆地：ヒロシマ
について知るだけ
ではありません。
その先にも一緒に
考えを巡らせてい
きましょう！

00 ヒロシマ「を」学ぶ 広島「で」学ぶ

開会式～アイスブレイキング

開会式では、実行委員長・企画局長から企画趣旨の説明がありました。急遽のオンライン開催になりましたが、広島を通して社会を見ること・平和を考えることは変わりません。戦後75年である一方で新型コロナウイルス感染拡大もある、2020年11月ならではの「Peace Now! Hiroshima」をみんなで完成させようと呼びかけられました。

01 広島市内をバーチャルで!? 歴史は「なる」ものだ！

【企画1】資料館見学・フィールドワーク

平和記念資料館の見学と市内フィールドワークを通してヒロシマについて知る時間です。過去に起こったことやそこからの75年に考えを巡らせます。オンライン開催になり実際に足を運ぶことは叶いませんでしたが、写真やマップ、オリジナルのガイドブックを活用して現地実行委員が解説をしました。最後は歴史は「ある」ものではなく語り継ぐ人がいてはじめて「なる」ものだ、と締めくくられました。



“大勢の人が亡くなった”と括らず、一人ひとり人生があったということを忘れちゃいけない。(弘前大2年)

02 今年は「核時代75年目」 広島に学ぶ平和への責任

【企画2】被爆者講話

2日目の朝は被爆者講話からスタート。1歳のときに被爆された田中聰司さんをお招きしました。「“被爆75年”ではなく“核時代75年”という共通認識で一緒に未来を考えよう」と、あの日から今日までの自分や家族の生活のお話、被害の全体像と現在そして未来に関わるお話まで、力強く語っていただきました。私たちは次の世代に何を繋ぎますか？

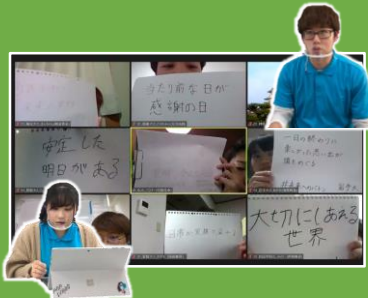


「核の存在をなくそう」とする意識が希薄している。何のために学んでいるのだろうか？(島根大1年)

03 私たちはみんな同じ地球上で 平和な社会をつくる仲間だ！

【企画3】インタビュー

平和公園を訪れる様々な人の想いを聞きに行く「ピースインタビュー」と平和活動を行っている人へのインタビュー記事もとに交流する「ピースインタビュー+」の時間です。オンライン開催のためピースインタビューはSNS企画「#未来へのボタン」を活用するコンテンツに切り替えましたが、平和を作っていく仲間一人ひとりには色々な価値観があり、その価値観を認め合うことが大切だと学びました。



異なる考えを持つ人と協同するために、自分たちにはどんなことができるかを考え続け、行動しなければ。
(滋科大4年)

04 私たちの生活は、社会と つながっているから…

【企画4】「私」と「あなた」と「みんな」のつながり

2020年は新型コロナウイルスの影響で私たちの生活は大きく変化しました。社会の変化が大学キャンパスの変化に、そして私たちの生活の変化にも繋がります。その変化一つひとつに十人十色の意見や人生が存在します。それを事前課題で持ってきたニュースをもとに考えました。様々な人の想いや考えを大切にしながら社会に関わりたいですね。



私達も社会の一員であるからこそ、行動に責任を持たなければならない。
(岩手大2年)

05 みんなの力で平和の輪を 広げていってほしいんです！

【企画5】あなたにとって平和とは？

セミナー参加前と参加後の自分の「平和観」の変化を見ました。2日間の学びを通して変わった人も深まった人もいます。社会の変化が私たちの生活の変化につながるのと同じように、私たちの行動は社会の変化に繋がります。「この平和への想いを軸にしてPN!での学びを仲間に伝えてほしいし、そうやってどんどん、社会に平和の輪を広げていってほしい」と伝えられました。

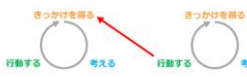


「平和」を実現するために身の回りのことからコツコツと行動してもいいんだということが確認できた。
(愛教大2年)

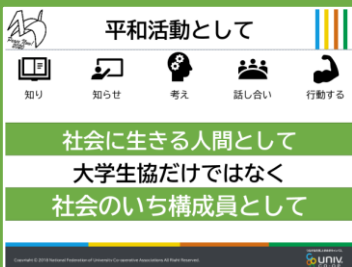
PN!のその先

PN!というきっかけを得て、たくさん考えてきました
これから行動し、さらに考えてみてください

あなたの行動が誰かのきっかけになります



日頃から平和について考えたり、想いを考えることが大事。
今だからこそ沢山挑戦する。
(福市大1年)



もっと世界を巻き込み、日本人が理想とする平和の考えが少しでも広まればいいなと感じた。
(山口大3年)

+A 戦後75年 未来へのボタン

企画局長：たじいからみなさんへ

2年前のPeace Now! Okinawaで、私は「自分にできること」を問われました。それがきっかけとなり、たくさんの場所に赴きたくさんの方に出会いながら、知って見て聞いて考えて話し合っ、「企画局長」という行動にまでつながりました。私の行動がみなさんのきっかけになったなら、Peace Now! Hiroshima 2020は大成功です。

実行委員長：しかたからみなさんへ

突然のオンライン変更にも関わらず、参加をしてくださり、またセミナー運営へのご理解とご協力をいただきありがとうございました。私たちは紛れもなく社会のいち構成員です。知り知らせ考え話し合い行動することができこの社会の一員です。2020年という年に広島を通して受け取ったボタン。これを手はどう走り、これをどうパスしますか？

